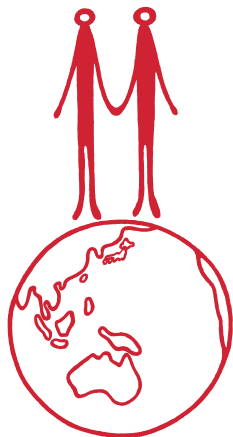


株主の皆様へ

trans  
cosmos  
people & technology



**Your Global IT Partner.**

あなたの、グローバル IT パートナーを目指して。

**第24期 株主通信**

2008年4月1日から2009年3月31日

トランスコスモス株式会社

## ■ コーポレートビジョン

お客様の満足の大きさが  
我々の存在価値の大きさであり、  
ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。

### お客様企業へのコミットメント

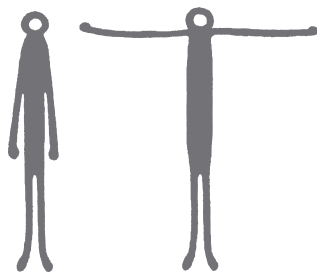
常に世の中の技術動向を把握し、人と技術の融合により  
付加価値と品質の高いサービスを継続的に提供する。  
お客様に信頼される真のパートナーシップを構築する。

### 社員へのコミットメント

社員は無限の可能性を秘めた最大の資産であり、  
個人の成長に必要な教育支援を惜しまない。  
機会は公平に与え、実績と能力によって適正な報酬と  
新たな成長の機会を提供する。

### 社会・株主へのコミットメント

グループの成長により株主価値を高めるとともに、  
社会の進歩に貢献する。



## ごあいさつ

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第24期（2008年4月1日から2009年3月31日まで）の事業および業績についてご報告申し上げます。

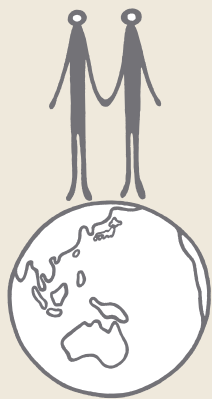
当社は、1966年に情報処理アウトソーサーの先駆けとして創業して以来、仕組みの創出によって『人』と『技術力』を融合し、より高い付加価値を加えたアウトソーシングサービスを提供しております。主力事業の『コールセンターサービス』をはじめ、『ビジネスプロセスアウトソーシングサービス』、『ビジネスプロセスソリューションサービス』、『デジタルマーケティングサービス』、『中国オフショア開発サービス』、『BtoC事業』、『海外事業』など、総合ITアウトソーサーとしてお客様企業の競争力強化に努めております。またこれらの事業を、分析力や開発力といった各々の分野で、より専門特化している当社グループ各企業と有機的に結びつけることにより、お客様企業のマーケティング活動の最適化および効率化、売上の拡大、新規顧客の獲得、ならびに顧客満足度向上の実現などに取り組んでおります。

一方で、当期における当事業を取り巻く環境は、米国の震源地とする世界的金融危機を背景に、株式市場の低迷や為替市場の混乱が起きるとともに、製造業を中心とした企業収益の急激な悪化など激変しました。このように様々な外的要因の影響もあり、当期における当社業績につきましては、昨年12月に当初計画を下回る見通しとなりましたが、不採算事業からの撤退、全社的なコスト削減、人的リソースの見直しなど、いち早く構造改革に着手する一方で、収益性改善を急ぐ企業の経営の効率化、コスト削減などを目的とした新たなアウトソーシングニーズの発生により受注が比較的堅調に推移いたしました。

この結果、当期の連結売上高は166,291百万円と、前期比0.9%の増収となりました。連結営業利益は、将来の競争力強化に向けた先行投資費用の負担や、コーポレートベンチャーキャピタル事業で営業損失を計上した結果、59百万円と、前期比98.6%の減益となりました。また、連結当期純利益につきましては、当社における税務上の欠損金に係る税効果を計上し、法人税等調整額は△5,028百万円となり、連結当期純利益は2,201百万円(前期は当期純損失3,139百万円)となりました。

また、2009年3月期の配当金につきましては、当社の通期業績が当初予想を下回ることとなったため、昨年12月5日に発表したとおり、誠に遺憾ながら実施を見送らせていただきます。株主の皆様には多大なご心配をおかけしますが、この結果を踏まえ、全社一丸となって、より一層の業績回復に取り組んでまいります所存でございます。

今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

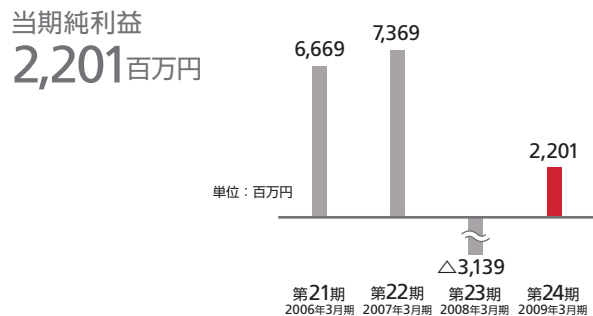
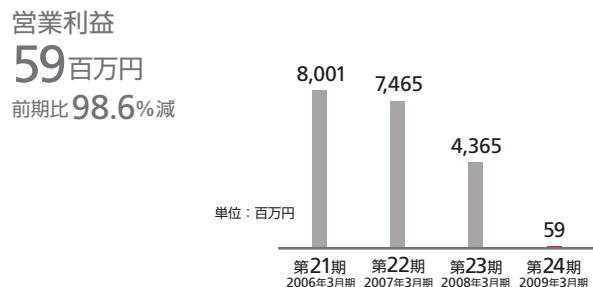
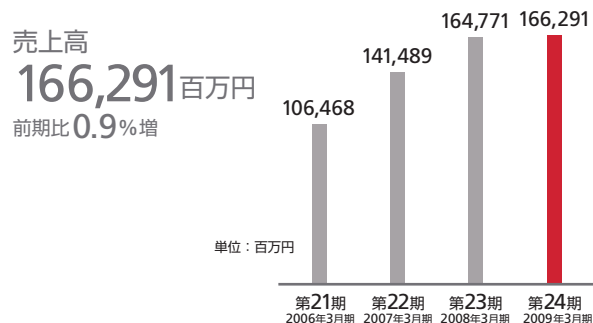


2009年6月

トランスコスモス株式会社  
代表取締役社長兼COO

奥田昌孝

## 連結決算のポイント



### ■連結決算のポイント

#### 【売上高】

主力のコールセンターサービスを中心に情報サービス事業が堅調に推移し、前期比0.9%の増収となりました。

#### 【営業利益】

将来の競争力強化に向けた先行投資費用の負担や、コーポレートベンチャーキャピタル事業で営業損失を計上した結果、前期比98.6%の減益となりました。

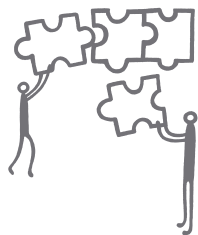
#### 【当期純利益】

当社における税務上の欠損金に係る税効果を計上し、法人税等調整額は△5,028百万円となるなど、当期純利益は2,201百万円(前期は当期純損失3,139百万円)となりました。

事業環境の激しい変化を背景に、今後トランスコスモスが推進していく施策について、ご紹介いたします。

## ■2008年度総括

2008年度は世界的な金融危機を背景に日本国内の経済は急激なスピードで景気後退に突入しました。これに伴い企業収益は軒並み悪化し、上場企業の倒産数は戦後最大規模となり、また製造業を中心に多くの企業が大規模な人員整理・削減を実施するなど外部環境の大きな変化がありました。このような状況下、当社では早くから構造改革に着手し、不採算事業からの撤退、全社規模でのコスト削減などに加え、成長分野である情報サービス事業の強化に取り組み、収益性の確保と成長力の醸成が可能な体質作りに努めてきました。



### 1.収益性確保に向けた主な取り組み

項目	内容
人件費を含む 販売管理費削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本社/営業/サービス部門で継続的な人材最適化と経費削減</li> <li>● 2009年4月より役員・年俸者報酬削減 代表取締役30%、その他の取締役(※)・執行役員10~20%、年俸者5~10%をそれぞれ減額 ※社外取締役除く</li> </ul>
CVC事業撤退	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2009年3月末をもって事業撤退</li> <li>● 2009年度より事業セグメントから除外</li> <li>● 大胆な減損実施で株式市況リスクを大幅軽減</li> </ul>
不採算事業撤退と 本体事業への集約	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DM系事業の一部売却</li> <li>● BtoB系子会社4社清算・売却・本体集約</li> <li>● BtoC系子会社2社を清算</li> </ul>

### 2.成長領域の発展のための取り組み

成長領域	内容
CC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● センター拠点の地方化、センター受注型の促進で収益性向上</li> <li>● 情報セキュリティマネジメントシステム規格「ISO/IEC27001認証」全国18拠点に拡大、高度なセキュリティ管理体制を強化</li> <li>● 独自の分析サービス力強化で差別化(分析力と分析環境は日本最大規模)</li> </ul>
BPO	<ul style="list-style-type: none"> <li>● BPOテクニカルセンター2拠点を本格稼働</li> <li>● 品質強化・品質改善スキル向上を目的としたサポートデスク認定制度導入</li> </ul>
BPS	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国2拠点含む大規模データエントリー体制本格安定稼働</li> <li>● 600万件/月のデータ処理が可能に</li> </ul>
DM	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネット広告、Webサイト構築・運用の2大市場で国内最大規模に成長</li> <li>● 関連会社や海外提携会社ツールの活用による分析を軸としたインターネット広告サービス確立</li> </ul>
海外事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内最大のコールセンターサービス展開、アジア主要10ヶ国言語対応/5,000席規模に</li> <li>● 中国・韓国で最大規模のデジタルマーケティングサービス展開</li> <li>● 国内最大のオフショアリング体制構築、2,100名規模に</li> </ul>
BtoC事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● BtoC系子会社と本体との協業本格化、競争力あるサービス提供可能に</li> <li>● 有力大手メディアとの連携/協業を加速</li> </ul>

## ■2009年度成長戦略

2009年度は、引き続き厳しい事業環境が予想されるものの、収益性改善を急ぐ企業の経営の効率化、コスト削減などを目的とした新たなアウトソーシングニーズの発生などが予想されます。この状況を当社では、新たなビジネス創出の機会と捉えています。2009年度の当社は、2008年度に実施した販売管理費の削減、収益向上に向けたサービスの選択と集中などの諸施策を推し進めていく一方で、創業43年で蓄積してきた顧客資産（約2,900社）をベースとしたクロスセル営業の強化、継続的に品質向上ならびにセキュリティ対策、内部統制対応等を実施していきます。また、市場環境の変化に伴い、新たなニーズにもスピーディーに対応できるように各事業の強化にも努めていきます。



## 各事業の成長戦略

### 事業

#### CC

- センターの地方化をさらに促進し、コスト競争力を強化  
・2009年4月、沖縄エリアで4番目となるセンター稼働



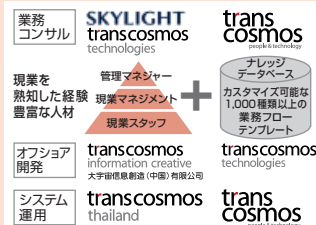
- 市場環境の変化に対応したサービスの拡充  
・業種・業務に特化した専門性の高いサービスの開発と提供

#### 【注目キーワード】

政府系金融機関の民営化、株式電子化、企業間での統廃合、リコール問題、地デジ切替、第四世代携帯電話 など

#### BPO

- 企業のコスト削減効果を高めるソリューションの提供  
・業務ノウハウ蓄積・標準化を活用した現場改善による業務効率化・コスト削減を実現
- グループ会社との連携強化  
・業務コンサル・オフショア開発・システム運用を当社グループ全体でワンストップ提供



#### BPS

- 「大量・スピーディー・セキュア」な業界/業務特化型データエントリー業務を拡充
- 行政情報デジタル化、住生活基本法、割賦販売法見直しなど業界毎に異なる新たな電子化ニーズに対応

#### DM

- お客様企業内で業務を行うオンサイト人材を基点にデジタルマーケティングを「人」+「ASPサービス」で提供
- 分析ソリューションに加え、インターネット広告事業とWebインテグレーション事業との連携強化でトータルにデジタルマーケティングを提供

#### 海外事業

- アジア最大規模のコールセンターサービスを中心にグローバル化する企業ニーズに対応
- 将来の布石となるグローバルサービスとデジタルマーケティングとの連携の強化と推進

#### BtoC事業

- 更なるサービスの選択と集中の促進で成長事業を強化

# Your Global IT Partner.

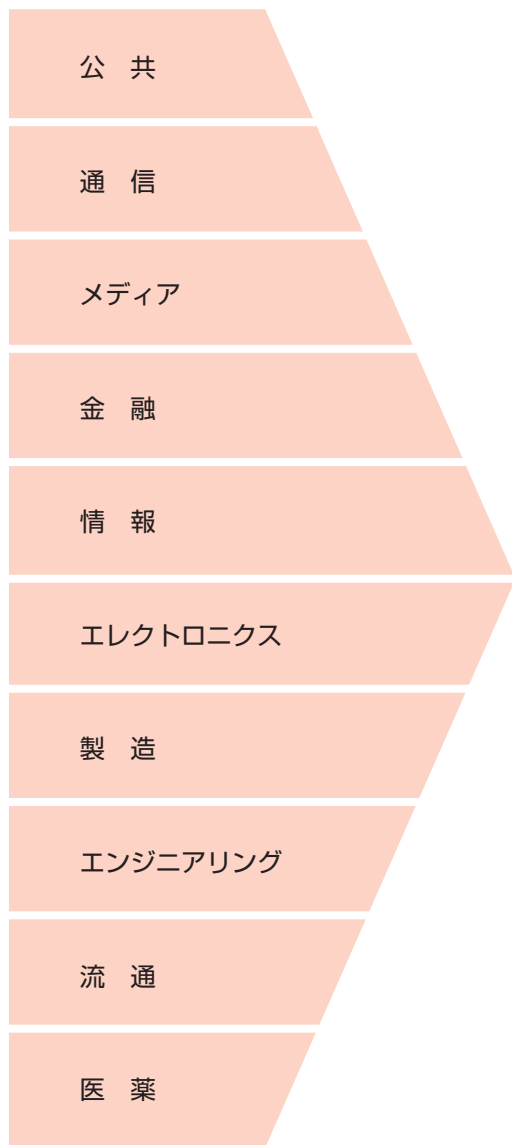
グローバル＝コストパフォーマンス×きめ細やかさ。これがトランスコスモスのITパートナー方程式です。

規制緩和、個人情報保護法やCSRの登場。そしてグローバルな競争…。ベストなITサービスが、経営クオリティを決める時代が到来しています。世界市場から最高の技術と最もコストパフォーマンスの高い人材を、日本ならではの、きめ細かくカスタマイズされたITサービスに統合する。これがトランスコスモスの提供するバリューです。

■ ITに関する全ての  
アウトソーシングサービスを  
ワンストップで提供する  
トランスコスモスのサービス

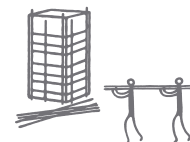


■ インダストリーに特化した営業体制



お客様企業

CC CallCenter



コールセンター

消費者の“生の声”をキャッチする。それはコールセンターの重要な機能です。私たちは、汲み上げた声をさらに新しいサービスに活かし、付加価値を創出しています。

企業のコールセンターでは、提供する商品・サービスについてのお客様からの質問やお問い合わせに、電話・メール・FAX等での対応を専門的に行います。当社は、このコールセンター業務を企業に代わって行うアウトソーシングサービスを提供しています。また、お問い合わせ対応だけでなく、商品・キャンペーン等の各種案内やセールスなど架電対応するアウトバウンド業務のサービスも提供しています。

- インバウンドサービス ● アウトバウンドサービス
- コールセンターシステムの構築・運用

BPO Business Process Outsourcing



ビジネスプロセスアウトソーシング

お客様企業の業務フェーズに即した最適なサービスをワンストップで提供し、コア業務への集中を支援します。

企業のコア業務集中を支援するビジネスパートナーとして、IT戦略立案支援から業務支援、ものづくり支援まで業務フェーズに即した最適なサービスをワンストップで提供。ITアウトソーシングサービスでは利用者への的確なフォローだけでなく、利用促進のための社員教育や運用面でもサポートします。さらに、受発注業務や経理業務など人手を要する業務、スキルと体制が必要なインフラ保守、短納期でコストを抑えたシステム開発まで展開。また企画・構想設計・開発設計・試作・生産を支援するものづくり支援など、業務効率を高めるワンストップのビジネスプロセスアウトソーシングを提供しています。

- システム構築・開発 ● AP保守 ● 検証 ● サポートデスク
- ビジネスサポート ● ITライフサイクル ● CAD業務支援
- 設計支援 ● 試作

**BPS****Business  
Process  
Solution****ビジネスプロセスソリューション**

大量の顧客データを、素早く、確実に、高いコストパフォーマンスで一括処理。個人情報保護と内部統制の時代に、なくてはならないアプリケーションサービスを提供しています。

ビジネスプロセスの診断・設計・構築・実行までの業務代行と、業務改善のコンサルテーションを行います。国内最大級のデータエントリーセンター機能と、「eトレース」を使ったトレーサビリティをバックボーンに、カード発行や各種申込書などの個人情報書面の回収・受付業務代行やヘルプデスクなど、企業の競争力を高める一歩先のASPサービスを提供しています。

- データエントリー ● イメージファイリング
- 中国エントリー ● ペーパーレス ● e文書管理
- 電子申込書サービス

**中国****Offshore  
System  
Developing****中国オフショア開発**

上流設計から保守まで一括受託。高品質かつ圧倒的なコストパフォーマンスとスピードを提供しています。

オフショア開発とは、国内のソフトウェアや各種システムの開発・運用を海外の事業者へ委託することです。当社は、中国を拠点に、オフショア開発サービスを提供しています。このサービスの最大のメリットは、大幅な原価削減が期待できる点です。中国の拠点を通じて、システム開発にかかるコスト、その他、施設・人員・インフラなど様々な面にかかるコストの大幅削減を実現しつつ、日本国内と同等の品質と技術を提供しています。

- オフショア開発サービス
- オフショア開発センター (ODC) サービス

**DM****Digital  
Marketing****デジタルマーケティング**

デジタルマーケティングは、主にインターネットをベースに企業のマーケティング活動全般を支援するサービスです。

インターネットをベースとした各種広告やPR、分析など企業のプロモーション活動を支援するインターネット広告事業、Webサイトの構築・運用などを提供するWebインテグレーション事業、モバイル事業など、業界トップクラスの実力と経験で、企業のマーケティング活動全般の支援をワンストップで行っています。

- インターネット広告 ● Webサイト構築・運用
- モバイル ● クロスメディア

**海外****Overseas  
Business****海外事業**

多彩なサービスを日本国内と同じ品質でグローバル展開。企業のビジネスを地球規模で支援しています。

日本国内で展開している多彩なサービスを、海外でも国内同等の品質と技術で提供しています。コールセンターサービス、デジタルマーケティングサービスはオンショア（現地・日系法人向け）、データエントリーやシステム開発などのサービスはオフショア（日本国内法人向け）で事業を展開しています。また、2008年12月にはアジア主要10言語に対応したグローバルコールセンターサービスを提供開始するなど、グローバルでの事業展開を加速しています。

- コールセンター ● ビジネスプロセスアウトソーシング
- データエントリー ● デジタルマーケティング
- システム開発



# BtoC BtoC

## BtoC事業

常に消費者の動向をキャッチできるように  
時流に乗ったインターネットメディアの  
開発・運営を行っています。

BtoC事業では、一般消費者を対象としたインターネットメディアの  
企画・開発・運営を行っています。インターネット上の3Dバーチャル  
コミュニティ(メタバース)として、リアルな東京を再現する  
「meet-me」は、次世代メディアとして注目度の高いメディアです。  
その他、商品に関する情報収集とオンラインの価格比較を同時に行  
うことができる「BECOME JAPAN」など、多彩なジャンルでメ  
ディアサービスを提供しています。

- 一般消費者向けインターネットメディアの  
企画・開発・運営

## ■トランスコスモスの品質

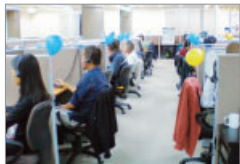
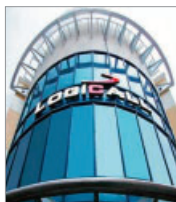
私たちは常に、お客様のニーズを的確に掴み、組織力を最大限に  
活用したチームワークにより、サービス提供プロセスの継続的な  
改善と、社員の成長を通じて顧客満足度の維持・向上に努めてい  
ます。日頃の様々な取り組みを評価いただき、これまでに様々な  
賞をいただきました。こうした受賞を励みに、これからもトラン  
スココスモスならではのサービスをご提供するべく、さらにサービス  
品質の向上に努めてまいります。



2006年	主な受賞歴	 コールセンターサービス The Contact Center World Awards 世界大会 最優秀賞
	サービス 品質向上への 取り組み	 コールセンターサービス MCMセンター那覇 情報セキュリティマネジメントシステム規格 ISO/IEC 27001 認証取得
2007年	主な受賞歴	 コールセンターサービス MCMセンター那覇 日経ニューオフィス推進賞
	サービス 品質向上への 取り組み	 中国オフショア開発サービス 大宇宙信息創造(中国)有限公司 ISO27001, CMMIレベル5取得
2008年		 中国オフショア開発サービス 大宇宙信息創造(中国)有限公司 中国国家計画内重点ソフトウェア企業 (5年連続)
	主な受賞歴	 コールセンターサービス The Contact Center World Awards アジア・パシフィック大会3位
		 コールセンターサービス CRM沖縄 沖縄県産業・雇用拡大県民運動 推進功労者表彰(グッドジョブ表彰)
		 ビジネスプロセスアウトソーシングサービス Best Customer Support of The Year 顧客満足向上賞
		 コールセンターサービス CC China 2008年度中国(アジア)コールセンター大会 中国最優秀アウトソーサー賞
	サービス 品質向上への 取り組み	 ビジネスプロセスアウトソーシングサービス HDI-Japan(ヘルプデスク協会)と 日本初のストラテジックパートナー契約締結
		 コールセンターサービス 情報セキュリティマネジメントシステム規格 ISO/IEC 27001の認証範囲 全国18拠点に拡大

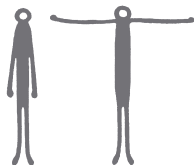
**フィリピンの  
コールセンター企業と  
資本提携**

フィリピンのマニラに拠点を置く  
コールセンター企業 Logical Inc.  
(現: transcosmos logical Inc.)  
の株式を51%取得し、英語対応の  
コールセンター事業へ本格参入。



**メディア分析型リスティング  
運用サービス提供を開始**

自社開発した運用支援システムでイン  
ターネット上の必要な情報をいち早く  
収集・分析しダイレクトに検索連動型  
広告の運用に反映するサービスの提供  
を開始。



**熊本市に  
「BPO熊本テクニカルセンター」  
を新設**

国内2拠点目となる複合型コーポ  
レートビジネスアウトソーシング拠  
点を新設。企業向けシステム運用・保  
守、開発・設計、ヘルプデスクなどの  
情報サービス関連、総務、経理、購買、  
受発注などのコーポレートビジネス  
関連など様々なサービスを提供して  
いく。

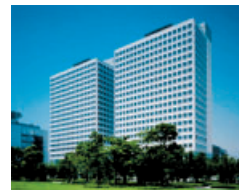
**沖縄コールセンター子会社が  
「沖縄県産業・雇用拡大県民  
運動推進功労者表彰  
(グッドジョブ表彰)」を受賞**

トランスコスモスシー・アール・エム  
沖縄が沖縄県主催の「沖縄県産業・  
雇用拡大県民運動推進功労者表彰  
(グッドジョブ表彰)」を受賞。



**有明に  
「BPO有明テクニカルセンター」  
を拡張リニューアル**

旧有明センターを改装してITマネジ  
メントや受発注業務なども含めた  
トータルなビジネスサポートが提供  
できるセンターに拡張。シート数・  
スタッフ数の増加、レイアウト・人員  
配置の変更、セキュリティ・インフラ  
の増強などを実施。



08  
4月

5月

6月

7月

8月

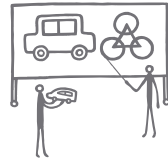
9月



**社団法人企業情報化協会主催  
「Best Customer Support  
of The Year 2008」において  
「顧客満足向上賞」を受賞**

日産自動車株式会社の販売会社向  
けサポートとして受託している業  
務で受賞。基幹システムのヘルプデ  
スクサービスで回答時間短縮・エス  
カレーション削減・放棄率改善等  
を実施。

09  
3月



2月

2009年

1月

12月

11月

10月

### 情報セキュリティマネジメントシステム規格「ISO/IEC 27001」の認証範囲を拡大

全国22ヶ所に展開しているコールセンターのうち、18拠点において、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格であるISO/IEC 27001の認証を取得。



### グローバルコールセンターサービスを開始

海外進出しているお客様企業に、アジアの主要10言語でのサービスをワンストップで提供するグローバルコールセンターサービスを開始。



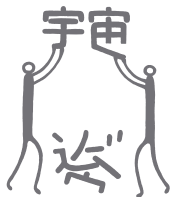
### 沖縄コールセンター子会社が沖縄県ITビジネスアワード雇用部門で受賞

トランスコスモス シー・アール・エム沖縄が沖縄県で雇用拡大・地域貢献・職場作り・人材育成などの面で情報通信産業の発展に寄与した企業として、沖縄県主催の「沖縄県ITビジネスアワード」の雇用部門で受賞。



### 中国コールセンター子会社が「2008年中国最優秀アウトソーサー賞」を受賞

上海特思尔大宇宙商務咨询有限公司(通称:トランスコスモスCCチャイナ)が北京(中国)で行われた2008年度中国(アジア)最優秀コールセンター大会において中国最優秀アウトソーサー賞を受賞。

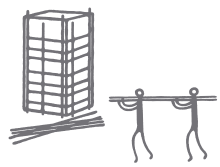


### 会員管理・ポイント管理サービスを提供する新会社「ビズ・トラスト」サービス開始

BPS事業で培ったデータベース運用管理のノウハウを活用し、企業の会員管理やポイントサービス等を提供する「ビズ・トラスト株式会社」を住友信託銀行株式会社と共同設立、本格的にサービス提供を開始。

### NHK放送受信料の契約・収納業務を落札

日本放送協会(NHK)が実施した放送受信料の契約・収納業務の公開競争入札に参加し、神奈川県厚木市の一部の地区で落札。



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当連結会計年度 2009年3月31日現在	前連結会計年度 2008年3月31日現在
<b>■資産の部</b>		
流動資産	50,047,905	58,755,859
固定資産	38,044,391	38,343,011
有形固定資産	11,678,355	13,108,803
無形固定資産	7,207,872	7,361,097
投資その他の資産	19,158,163	17,873,110
資産合計	88,092,296	97,098,870
<b>■負債の部</b>		
流動負債	25,867,546	32,148,129
固定負債	22,663,933	15,189,842
負債合計	48,531,479	47,337,972
<b>■純資産の部</b>		
株主資本	36,482,037	37,939,010
資本金	29,065,968	29,065,968
資本剰余金	23,009,658	23,057,566
利益剰余金	4,155,622	3,649,849
自己株式	△19,749,211	△17,834,374
評価・換算差額等	△2,228,277	5,019,802
新株予約権	300	—
少数株主持分	5,306,756	6,802,085
純資産合計	39,560,816	49,760,898
負債・純資産合計	88,092,296	97,098,870

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当連結会計年度 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	前連結会計年度 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売上高	166,291,905	164,771,666
売上原価	137,225,102	131,179,722
売上総利益	29,066,803	33,591,943
販売費及び一般管理費	29,007,734	29,226,924
営業利益	59,068	4,365,018
営業外収益	804,570	612,881
営業外費用	2,057,559	1,300,080
経常利益	△1,193,919	3,677,819
特別利益	3,341,291	1,566,443
特別損失	5,097,618	2,999,790
税金等調整前当期純利益	△2,950,245	2,244,472
法人税、住民税及び事業税	535,473	3,791,218
法人税等調整額	△5,028,477	2,104,659
少数株主損失	659,109	511,646
当期純利益	2,201,868	△3,139,759

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

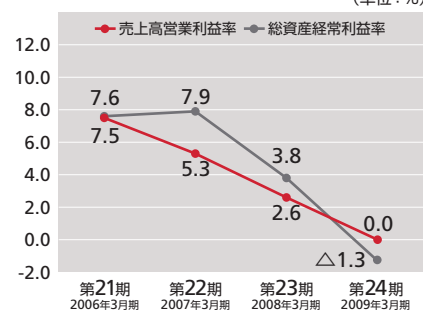
(単位:千円)

科目	当連結会計年度 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	前連結会計年度 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,564,680	760,788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,065,510	△12,533,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,087,237	5,091,545
現金及び現金同等物の期末残高	14,211,943	14,821,707

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 売上高営業利益率・総資産経常利益率

(単位:%)



## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	株主資本					評価・換算差額等				新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
2008年3月31日残高	29,065,968	23,057,566	3,649,849	△17,834,374	37,939,010	310,530	△7,134	4,716,406	5,019,802	-	6,802,085	49,760,898
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△1,639,676		△1,639,676				-	-	-	△1,639,676
当期純利益			2,201,868		2,201,868				-	-	-	2,201,868
自己株式の取得				△1,993,840	△1,993,840				-	-	-	△1,993,840
自己株式の処分		△47,907		79,003	31,095				-	-	-	31,095
連結範囲の変動			△40,762		△40,762				-	-	-	△40,762
その他			△15,656		△15,656				-	-	-	△15,656
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					-	97,096	2,299	△7,347,475	△7,248,079	300	△1,495,329	△8,743,109
連結会計年度中の変動額合計	-	△47,907	505,772	△1,914,837	△1,456,972	97,096	2,299	△7,347,475	△7,248,079	300	△1,495,329	△10,200,081
2009年3月31日残高	29,065,968	23,009,658	4,155,622	△19,749,211	36,482,037	407,626	△4,835	△2,631,068	△2,228,277	300	5,306,756	39,560,816

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	トランス・コスモス株式会社 (transcosmos inc.)
所在地	東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 〒150-8530
電話番号	03-4363-1111 (大代表)
FAX番号	03-4363-0111
設立年月日	1985年6月18日 (登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	本体: 8,977名 グループ: 16,996名
主要取引銀行	三井住友銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行

## 株式の状況

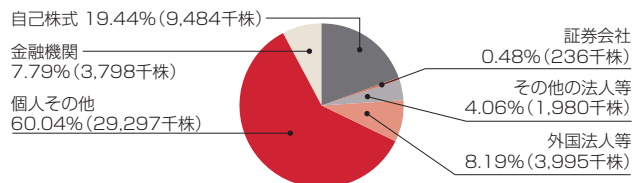
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	21,862名

## 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
奥田 耕己	7,498	19.08
奥田 昌孝	5,910	15.04
平井 美穂子	2,185	5.56
財団法人奥田育英会	1,753	4.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	1,203	3.06
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505012	1,143	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	772	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	624	1.59
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	616	1.57
MELLON BANK ABN AMRO GLOBAL CUSTODY N.V.	578	1.47

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 出資比率は、小数第二位を四捨五入により表示しております。  
 3. 出資比率は、自己株式(9,484千株)を控除して算出しております。

## 所有者別株式分布状況



- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、小数第二位を四捨五入により表示しております。

## 役員構成 (2009年6月25日現在)

代表取締役グループCEO ファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
専務取締役	石見 浩一
上席常務取締役	向井 宏之 森山 雅勝 永倉 辰一
社外取締役	吉岡 大樹 夏野 剛 瀧浪 壽太郎
常勤監査役	石岡 英明
監査役	渡邊 和志 中村 敏明 高尾 吉郎
常務執行役員	下總 邦雄 牟田 正明 貝塚 洋 中山 国慶 河野 洋一
執行役員	高野 雅年 森田 祐行 山喜 和彦 多田 真之 早見 泰弘 梅村 和広 清水 一洋

## ■ トランスコスモスにおけるCSR活動

### 第24期における主なCSR活動のご報告

責任ある企業活動を行い、経済・社会の発展に貢献していくこと。つまり企業の社会的責任（CSR）を果たすことは、当社のステークホルダーの皆様からの信頼にもつながり、お客様にとって価値あるビジネスを継続していくうえで不可欠だと考えています。そうした思いのもとトランスコスモスは、環境・社会貢献活動を展開しています。

なかでも、健全な社会発展のために、地域貢献、人材育成支援、学術・教育の復興のための様々な社会貢献活動を積極的に行っています。ここに、当期の活動内容の一部をご報告いたします。

#### ● 地域社会への貢献活動

##### 2009年1月26日 沖縄県ITビジネスアワード雇用部門で受賞

沖縄でコールセンター事業を展開する子会社が「沖縄県ITビジネスアワード」における雇用部門で受賞しました。ITビジネスアワードは、雇用拡大・地域貢献・職場作り・人材育成などの面で、情報通信産業の発展に寄与した企業が表彰されます。この度の受賞では、雇用拡大への多大なる貢献と、リフレッシュルーム・託児所を併設するなどの働きやすい環境作りが評価されました。



#### ● 人材育成支援、学術・教育の復興

##### 2008年11月28日 ろう学校への出張授業を実施

明晴学園は、2008年にろうの子供たちのために東京都品川区に開校した私立学校です。同校は、「手話」と「日本語」の「バイリンガルろう教育」を行った、日本で初めての学校でもあります。同校の生徒を対象に、『出張授業』を実施しました。今回の出張授業に際し、同じろう者であるトランスコスモスの社員がカリキュラムの作成や、当日の講師などを担当し、インターネットを安全に使うためのルールなどを中心に学んでいただきました。





## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 (中間配当金 毎年9月30日) そのほか必要があるときは、あらかじめ公示して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 <a href="http://www.trans-cosmos.co.jp">http://www.trans-cosmos.co.jp</a> ※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## ホームページのご案内

詳しい財務情報や最新のIRリリース、決算説明会資料などを紹介するIRライブラリーなど当社のIR情報をご覧ください。

<http://www.trans-cosmos.co.jp>



## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9715

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元  
に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com